

東京医療保健大学としての教員養成に対する理念

本学は、「科学技術に基づく正確な医療保健の学問的教育・研究及び臨床活動」、「寛容と温かみのある人間性と生命に対する畏怖の念を尊重する精神」を建学の精神及び教育理念とし、医療分野において特色ある教育環境を実践することで時代の求める高い専門性及び豊かな人間性と教養を備え、これからの社会が抱える様々な課題に対して新しい視点から総合的に探究し、解決することのできる人材の育成を目的として平成17年4月1日に開学した。

この建学の精神・教育理念に基づき、昨今の子どもと家族をめぐる社会情勢の変化に伴い、養護教諭に期待される機能を果たすことができる人材を育成したいと考えている。現代の養護教諭には、学校保健の推進者として、学校内においては子どもと教職員の健康を管理し推進する機能と同時に健康教育を展開する機能、加えて学校内外の他職種、他機関と連携し、チームで活動するための調整機能やマネジメント機能が期待されている。本学においては、これら4つの機能を兼ね備えた養護教諭を養成したいと考えている。

【医療保健学部】

医療保健学部では、看護学科にて養護教諭1種免許の課程、医療栄養学科にて栄養教諭1種免許の課程を設けている。両学科ともに教育課程の中で1年次から4年次までマネジメント能力を身につける教育を行っており、また4年次には、医療情報学科を加えた3学科共同で授業を展開する協働実践演習がある。他学科とのコラボレーションによって、自らの専門性を認識し、他の専門職の専門性を認め、他職種との協働を在学中から実践することによって、現在の学校現場が抱える課題の複雑化・多様化に適切に対応できる養護教諭、栄養教諭を養成していきたい。

【千葉看護学部】

千葉看護学部では、独立行政法人地域医療機能推進機構（以下JCHOとする）と連携して、地域医療に貢献できる看護職の育成を目指し、基本となる看護師課程においても特徴ある科目を複数設けている。これにより、病院の中だけにとどまらず、地域や施設で暮らす人びとの健康にも関わることができる看護職を養成するとともに、人の心身の健康や社会資源および多職種の連携など、看護について深い学習が可能となる。さまざまな状況にある子どもおよび家族を地域の中で見守り育てることのできるチームの要となることができる養護教諭を養成していきたい。

【和歌山看護学部】

和歌山看護学部においては、現代社会が抱える様々な課題の複雑化・多様化に適切に対応できる、豊かな人間性・社会性を兼ね備えた教員の養成を目指し、地域の社会・文化を多角的に学ぶ「わかやま学」をはじめとする特徴ある科目を複数設けている。児童・生徒が抱える「心の問題」は多様化かつ深刻化している中、心身の健康問題を抱える子どもたちの増加に伴い、子ども一人一人にきめ細やかな支援を行うべく、高度且つ専門的な看護の知識と教育の知識の両面を持ち得る養成していきたい。